

コースフロー /
コースカリキュラム

2018.10 – 2019.3

日立製品

日立製作所のオープンミドルウェア、
プラットフォームソフトウェアなどを
扱うために必要な技術が修得できます。

<https://www.hitachi-ia.co.jp/>
日立インフォメーションアカデミーホームページ

JP1

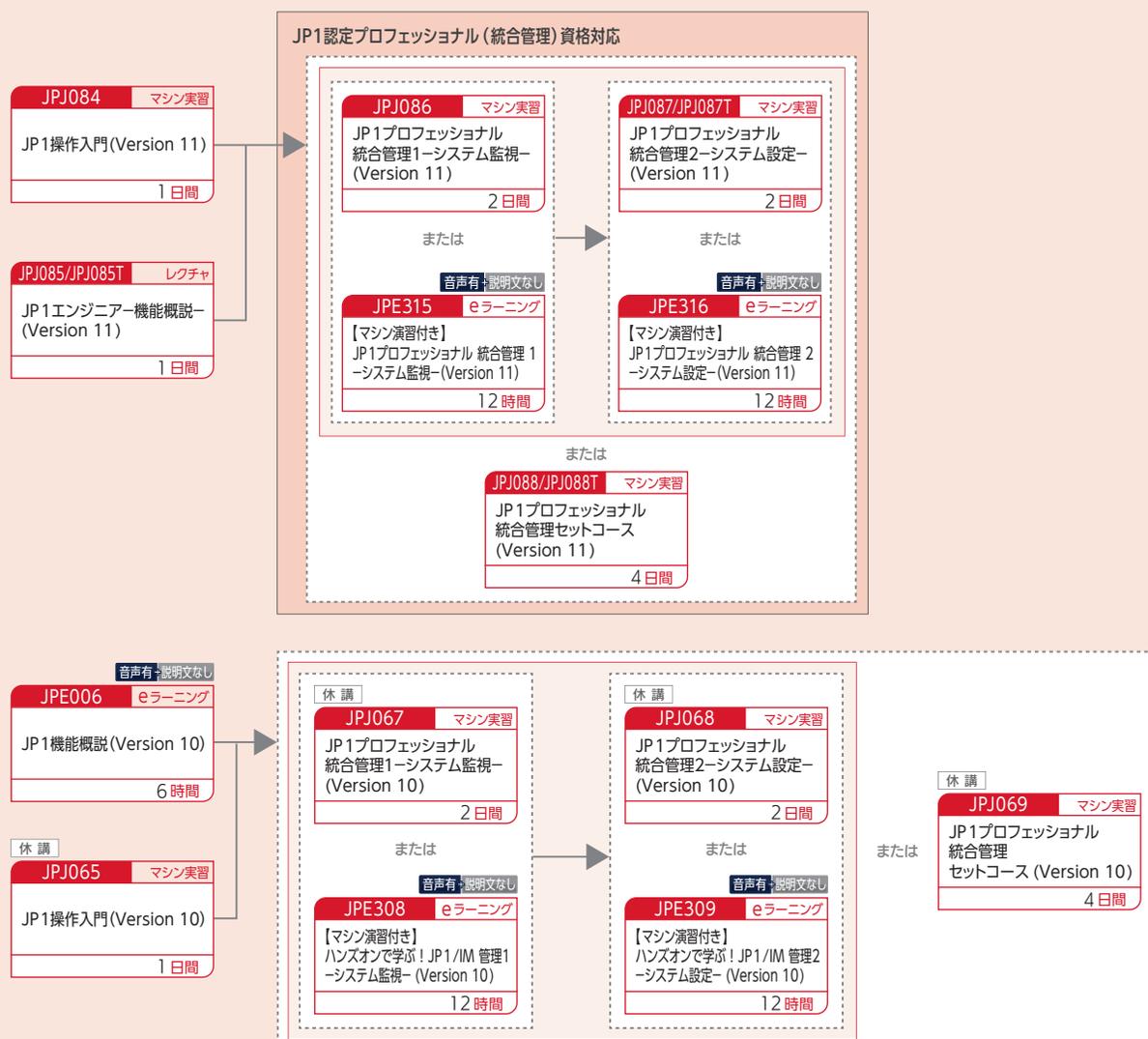
統合システム運用管理ソフトウェア JP1 を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が
 修得できます。

JP1 Version 11対応の研修は、JP1 Version 10までの製品をご利用の方もご受講できます。

● JP1製品の導入を検討する方



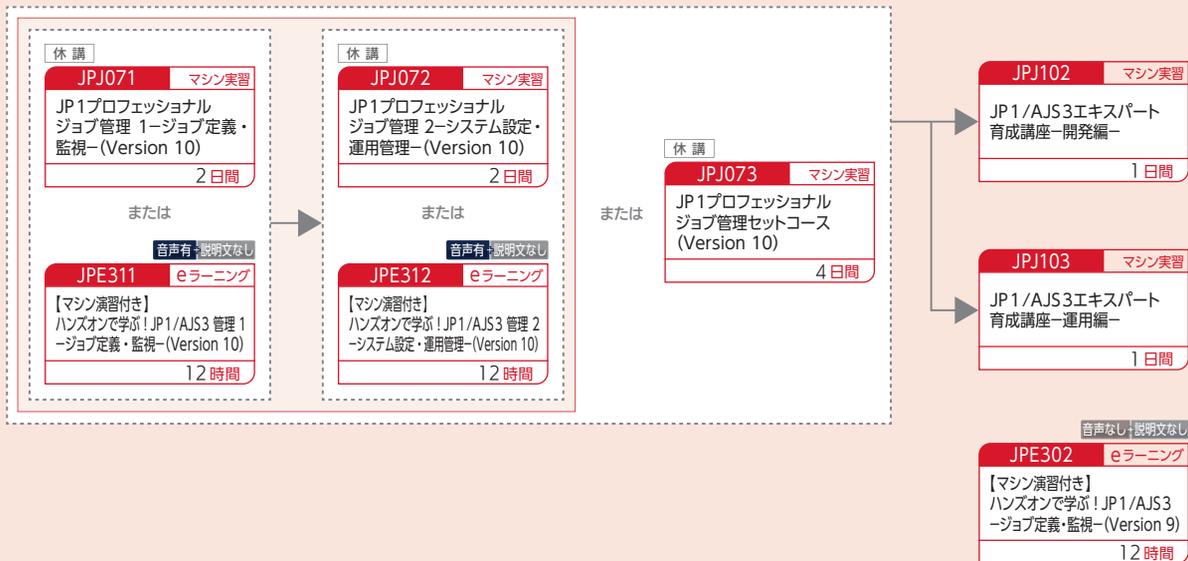
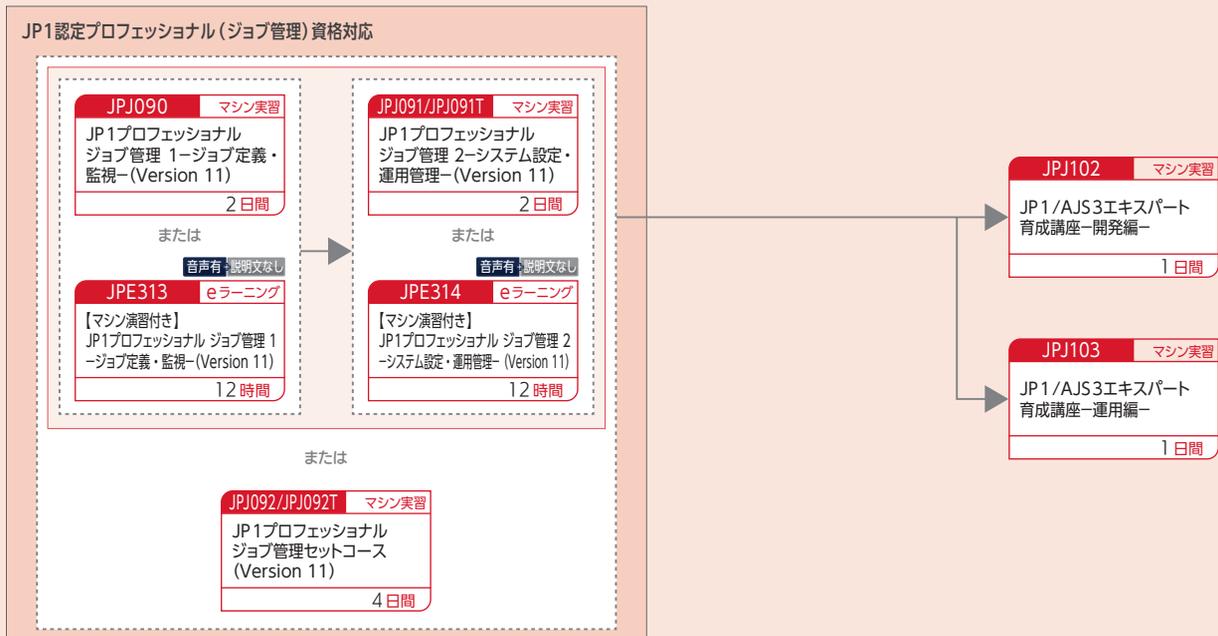
● JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方

JPJ093 マシン実習
 JP1プロフェッショナル
 IT運用自動化
 (Version 11)
 2日間

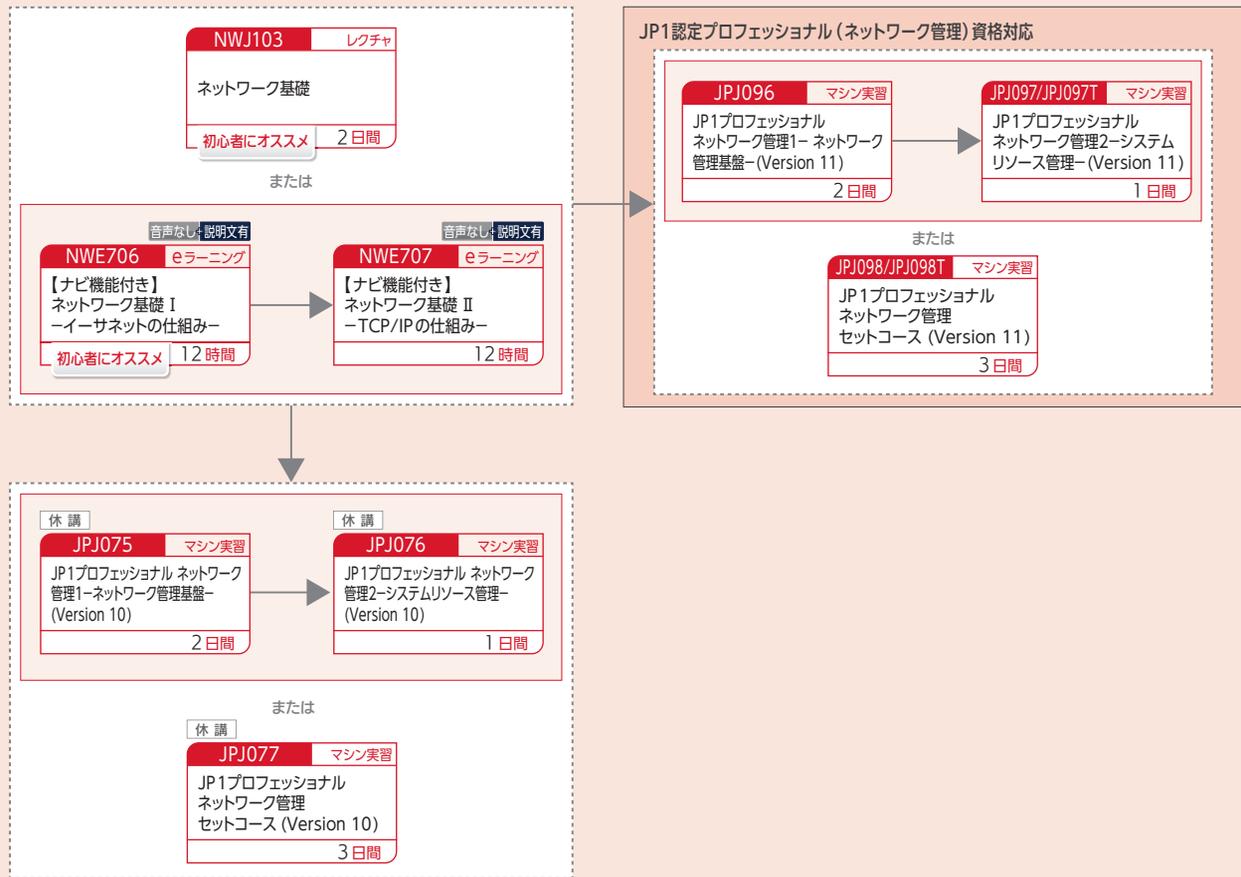
● JP1ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



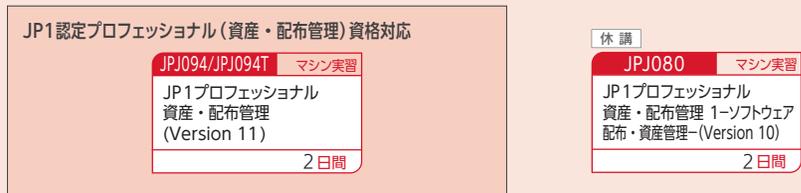
- 音声有+説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声なし+説明文なし : 学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におススメ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

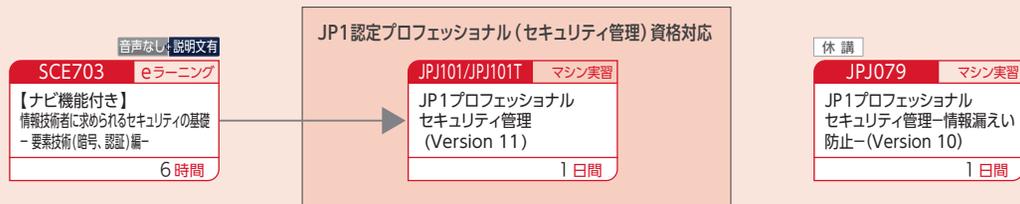
● JP1ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



● JP1セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



- 音声有+説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有+説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし+説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)資格対応

休講

JPJ089/JPJ089T マシン実習

JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理
(Version 11)

2日間

または

音声有、説明文なし

JPE321 eラーニング

【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理 (Version 11)

12時間

休講

JPJ070 マシン実習

JP1プロフェッショナル
アベイラビリティ管理
(Version 10)

2日間

または

音声有、説明文なし

JPE310 eラーニング

【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ！
JP1/PFM (Version 10)

12時間

● JP1バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)資格対応

休講

JPJ100/JPJ100T マシン実習

JP1プロフェッショナル
バックアップ管理
(Version 11)

1日間

● JP1の販売に携わる方

11653 レクチャ

【日立パートナー様 限定コース】
JP1セールスコーディネーター
(Version 11)

1日間

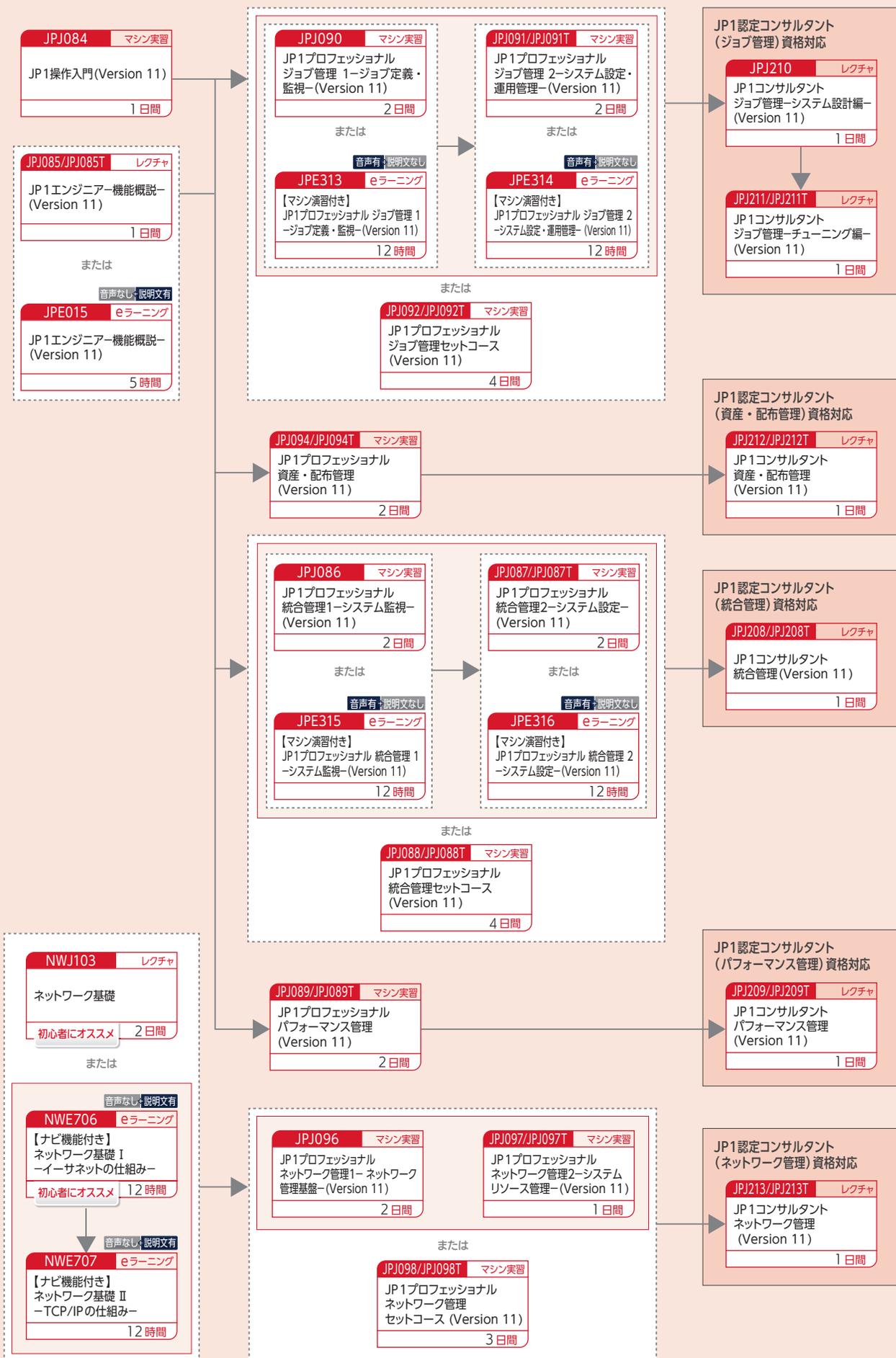
音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方



日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 — オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度(オープンミドルウェア編)は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客様、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。(ご希望の方にはメールでもご案内しております。)

また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

<受験にあたってのお願い>

- ・受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書(免許証、従業員証、パスポートなど)を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- ・認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- ・試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

試験名	試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル (各カテゴリ別認定)	試験問題30問	70%以上正解	60分
<ul style="list-style-type: none"> ・統合管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理 ・パフォーマンス管理 ・セキュリティ管理 ・バックアップ管理 ・ジョブ管理 			
JP1認定コンサルタント (各カテゴリ別認定)	試験問題30問	70%以上正解	60分
<ul style="list-style-type: none"> ・統合管理 ・資産・配布管理 ・パフォーマンス管理 ・ネットワーク管理 ・ジョブ管理 			
JP1認定セールスコーディネーター [*]	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験 **日立** 当社で研修とともに受験できる試験

^{*}日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、(株)日立製作所が提供するものです。

運営は、(株)日立インフォメーションアカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のホームページでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ **JP1** <http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html>

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html>

● (株)日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口

https://www.8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

JP1技術者資格認定制度（Version 11対応）

※ Version 10については日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。

セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア <Certified JP1 Engineer>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル <Certified JP1 Professional> ・統合管理 ・パフォーマンス管理 ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・セキュリティ管理 ・ネットワーク管理 ・バックアップ管理	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント <Certified JP1 Consultant> ・統合管理 ・パフォーマンス管理 ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター <Certified JP1 Sales Coordinator> ※	お客様に対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

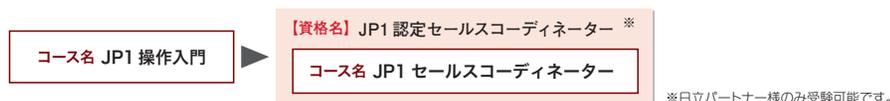
※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系

構築・運用エンジニア JP1の構築・運用に携わる方



セールスエンジニア JP1の販売に携わる方



JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニア機能概説- (Version 11)」(コースコード: JPJ085/JPE015) ※1 のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-(Version 11)」(コースコード: JPJ086/JPE315) ※2、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-(Version 11)」(コースコード: JPJ087/JPE316) ※2 のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ089/JPE321) ※2 のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 11)」(コースコード: JPJ090/JPE313) ※2、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 11)」(コースコード: JPJ091/JPE314) ※2 のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ094)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤-(Version 11)」(コースコード: JPJ096)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-(Version 11)」(コースコード: JPJ097)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ100)のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ101)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ208)、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視-(Version 11)」(コースコード: JPJ086/JPE315) ※2、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定-(Version 11)」(コースコード: JPJ087/JPE316) ※2 のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理	「JP1コンサルタント パフォーマンス管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ209)、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ089/JPE321) ※2 のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 11)」(コースコード: JPJ210)、 「JP1コンサルタント ジョブ管理-チューニング編-(Version 11)」(コースコード: JPJ211)、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 -ジョブ定義・監視-(Version 11)」(コースコード: JPJ090/JPE313) ※2、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 -システム設定・運用管理-(Version 11)」(コースコード: JPJ091/JPE314) ※2 のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ212)、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ094)のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理(Versio 11)」(コースコード: JPJ213)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤-(Version 11)」(コースコード: JPJ096)、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理-(Version 11)」(コースコード: JPJ097)のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター※	「JP1セールスコーディネーター」(コースコード: 11653)のテキスト内容から出題 ※日立パートナー様のみ受験可能です。

※1：学習形態は集合研修と従来型 eラーニングの2タイプがあります。

※2：学習形態は集合研修とマシン演習付き eラーニングの2タイプがあります。

JPJ085/JPJ085T JP1

JP1エンジニア機能概説 (Version 11)

1日間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標 ・ JP1製品の特長が説明できる。
 ・ 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
 ・ 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内容 1. JP1の基礎知識
 2. オートメーション
 3. モニタリング
 4. コンプライアンス

備考 ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・ このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。
 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
 コースコード：JPJ085(研修のみ)
 コースコード：JPJ085T(試験付)
 ・ 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPE015 JP1

**<eラーニング>
 JP1エンジニア機能概説 (Version 11)**

平均5時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標 ・ JP1製品の特長が説明できる。
 ・ 各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
 ・ 各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内容 1. JP1の基礎知識
 2. オートメーション
 3. モニタリング
 4. コンプライアンス

備考 ・ 説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・ このコースは、「JP1認定エンジニア」資格に準拠したコースです。
 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

JPJ084 JP1

JP1操作入門 (Version 11)

1日間

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・ JP1の主要5製品の特長を説明できる。
 ・ JP1/Automatic Job Management System3(ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。
 ・ JP1/IT Desktop Management2(資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。
 ・ JP1/Network Node Manager i(ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
 ・ JP1/Performance Management(パフォーマンス管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
 ・ JP1/Integrated Management(統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方、JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があり、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容 1. システム運用管理とJP1
 2. ジョブ管理の操作入門
 3. 資産・配布管理の操作入門
 4. 統合管理の操作入門
 5. パフォーマンス管理の操作入門
 6. ネットワーク管理の操作入門

備考 ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
 ・ JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ086 JP1

JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視- (Version 11)

2日間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・ セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
 ・ セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
 ・ イベント監視ページのカスタマイズができる。
 ・ セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。
 ・ 自動アクションの設定ができる。
 ・ 重要イベントページのカスタマイズができる。
 ・ 必要なイベントを検索できる。
 ・ 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
 ・ コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニア機能概説 (Version 11)」コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 統合管理の全体像
 2. システム監視
 (1) システム監視の基本操作
 (2) 繰り返しイベントの表示抑止
 (3) フィルターによるJP1イベントの絞り込み
 3. システム障害の検知
 (1) 自動アクション
 (2) ローカルアクション
 (3) 重要イベントページ
 (4) ビジュアル監視
 (5) 監視ツリー
 4. システム障害の調査・対処
 (1) ガイド情報の表示
 (2) メモ情報の設定
 (3) コマンド実行

備考 ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。
 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
 ・ JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
 コースコード：JPJ086(研修のみ)
 コースコード：JPJ086T(試験付)
 ・ 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ087/JPJ087T JP1

JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定- (Version 11)

2日間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・ インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
 ・ IMデータベースを構築できる。
 ・ 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
 ・ マネージャー・エージェント構成を構築できる。
 ・ ログファイル監視の設定ができる。
 ・ イベントメッセージの変換ができる。
 ・ 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
 ・ ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視- (Version 11)」コース、または「マシン実習付き」JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視- (Version 11) eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 統合管理の概要
 2. 統合管理の導入
 (1) インストール
 (2) IMデータベースの構築
 (3) サービスの起動・終了
 3. JP1イベントの集中管理設定
 (1) 構成管理設定
 (2) JP1イベントの転送設定
 (3) リモート監視構成管理の設定
 (4) JP1イベントに固有の拡張属性を付加する設定
 4. ユーザー管理機能
 (1) ユーザー認証の設定
 (2) 認証サーバの閉塞
 (3) ユーザーマッピングの設定
 5. 監視対象の設定
 (1) アプリケーションが出力するログの監視
 (2) Windowsイベントログの監視
 (3) リモート監視ホストのログ監視
 (4) メッセージ変換
 (5) イベントストリーム発生時のイベント転送抑止設定
 6. 監視画面の設定
 (1) セントラルスコープのセットアップ
 (2) 監視ツリー画面の設定
 (3) ビジュアル監視画面の設定

備考 ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。
 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
 ・ JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
 コースコード：JPJ087(研修のみ)
 コースコード：JPJ087T(試験付)
 ・ 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ088/JPJ088T JP1

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース (Version 11)

4日間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ086>
 JP1プロフェッショナル 統合管理 1 -システム監視- (Version 11)

<JPJ087/JPJ087T>
 JP1プロフェッショナル 統合管理 2 -システム設定- (Version 11)

備考 ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・ このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(統合管理)」資格に準拠したコースです。
 ・ このコースは、JP1 Version 11対応です。
 ・ JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
 ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
 コースコード：JPJ088(研修のみ)
 コースコード：JPJ088T(試験付)
 ・ 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
 ・ 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
 ・ JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPE315 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル 統合管理 1
-システム監視-(Version 11)**

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事実監視ができる。
- イベント監視ページのカスタマイズができる。
- セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要イベントページのカスタマイズができる。
- 必要なイベントを検索できる。
- 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニア機能概説-(Version 11)」コース/eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 統合管理の全体像
- システム監視
 - システム監視の基本操作
 - 繰り返しイベントの表示抑制
 - フィルターによるJP1イベントの絞り込み
- システム障害の検知
 - 自動アクション
 - ローカルアクション
 - 重要イベントページ
 - ビジュアル監視
 - 監視ツリー
- システム障害の調査・対処
 - ガイド情報の表示
 - メモ情報の設定
 - コマンド実行

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理1-システム監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE316 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル 統合管理 2
-システム設定-(Version 11)**

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- インストールするうえで必要な製品構成を説明できる。
- 認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- マネージャ、エージェントを構築できる。
- ログファイル監視の設定ができる。
- 監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 11)」コース、または「【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 11)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 統合管理の概要
- 統合管理の導入
 - インストール
 - IMデータベースの構築
 - サービスの起動・終了
- JP1イベントの集中管理設定
 - 構成管理設定
 - JP1イベントの転送設定
- ユーザー管理機能
 - ユーザー認証の設定
 - 認証サーバの閉塞
 - ユーザーマッピングの設定
- 監視対象の設定
 - アプリケーションが出力するログの監視
 - Windowsイベントログの監視
 - リモート監視ホストのログ監視
 - イベントストーム発生時のイベント転送抑制設定
- 監視画面の設定
 - セントラルスコープのセットアップ
 - 監視ツリー画面の設定
 - ビジュアル監視画面の設定
- 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル 統合管理2-システム設定-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPJ090 JP1

**JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
-ジョブ定義・監視-(Version 11)**

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

- JP1/AJS3の概要
- 業務の自動化
 - ジョブ定義
 - 即時実行登録
 - ジョブ実行状況の監視
- スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - カレンダー情報の設定
 - スケジュール設定
 - 計画/確定実行登録
 - 実行スケジュールの確認
- 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - ファイル更新契機のジョブの実行
 - 起動条件の設定
- 業務の実行監視

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ091/JPJ091T JP1

**JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
-システム設定・運用管理-
(Version 11)**

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- JP1/AJS3のインストールができる。
- エージェントの追加・変更ができる。
- JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報(JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。
- ジョブネットの定義の遡査・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース、または「【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- JP1/AJS3のインストール
 - JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
- ジョブ実行環境の設定
 - エージェント管理機能の設定
- ユーザー管理機能の設定
 - JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
- JP1/AJS3システムの運用
 - 複数スケジューラサービスでの運用
 - スケジューラサービス参照制限
 - 実行エージェント制限
 - スケジューラサービスの同時接続制限
 - IPアドレスによる接続元ホスト制限
- ジョブネットの運用
 - ジョブネットの遡査・回復
 - ジョブネット定義の変更
 - 業務の運用状況の確認

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード: JPJ091 (研修のみ)
- コースコード: JPJ091T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ092/JPJ092T JP1

**JP1プロフェッショナル ジョブ管理
セットコース (Version 11)**

4日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください。

<JPJ090>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
-ジョブ定義・監視-(Version 11)

<JPJ091/JPJ091T>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
-システム設定・運用管理-(Version 11)

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、「試験のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード: JPJ092 (研修のみ)
- コースコード: JPJ092T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPE313 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
-ジョブ定義・監視-(Version 11)**

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- 運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- 業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

- JP1/AJS3の概要
- 業務の自動化
 - ジョブ定義
 - 即時実行登録
 - ジョブ実行状況の監視
- スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - カレンダー情報の設定
 - スケジュール設定
 - 計画/確定実行登録
 - 実行スケジュールの確認
- 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - ファイル更新契機のジョブの実行
 - 起動条件の設定
- 業務の実行監視

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、JP1 Version 11対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE314 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
—システム設定・運用管理— (Version 11)**

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3のインストールができる。
- ・ジョブ実行環境のセットアップができる。
- ・JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- ・JP1/AJS3スケジューラサービスの分割および参照制限ができる。
- ・実行エージェントや接続元ホストのジョブ実行の制限ができる。
- ・JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ・ジョブネットの定義の選定
- ・回復、運用状況監視の操作ができる。
- ・運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用したシステム構築、運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視— (Version 11)コース、または【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視— (Version 11) eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1/AJS3のインストール
 - (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
 - (1) 複数スケジューラサービスでの運用
 - (2) スケジューラサービス参照制限 (3) 実行エージェント制限
 - (4) スケジューラサービスの同時接続制限
 - (5) IPアドレスによる接続元ホスト制限
5. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネットの選定・回復 (2) ジョブネット定義の変更
 - (3) 業務の運用状況の確認
6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 11に対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ認定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるPCにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前までのごキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2—システム設定・運用管理— (Version 11)」コース(集合研修)と同等内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPJ102 JP1

**JP1/AJS3 エキスパート育成講座
—開発編—**

1日間

ジョブ管理 (JP1/AJS) を使用した業務開発で困っていることを、業務開発のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標

- ・ジョブ管理の業務設計・開発ノウハウを活用できる。
- ・効率的なテスト設計により、短期間でのテストができる。
- ・問題点や注意点を活かした移行ができる。
- ・メンテナンスしやすい業務設計・開発ができる。

対象者 JP1/AJS3 (JP1/AJS2) を使用した業務開発 (ジョブ定義) の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視—」コース/eラーニングコースおよび「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2—システム設定・運用管理—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内容

1. 業務設計のコツ
2. 業務開発のコツ
3. テスト効率化のコツ
4. 業務移行のコツ

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 11 対応です。
- ・JP1 Version 11以前のバージョンをご利用の方でもご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ103 JP1

**JP1/AJS3 エキスパート育成講座
—運用編—**

1日間

ジョブ管理 (JP1/AJS) を使用したシステム運用で困っていることを、運用のノウハウとお薦め機能を使って解決する方法を学習します。

到達目標

- ・ジョブ管理の本番適用/リリース時のノウハウを活用できる。
- ・業務運用および監視の便利な機能を活用できる。
- ・コンプライアンスを守るためのオペレータ負荷の軽減や操作ミスの防止ができる。
- ・カレンダー、スケジュールの設定、変更時の注意点を活用できる。

対象者 JP1/AJS3 (JP1/AJS2) を使用したシステム運用 (ジョブ運用) の課題に対して解決策を検討する方。

前提知識 旧バージョンも含め「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視—」コース/eラーニングコースおよび「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2—システム設定・運用管理—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または、同等の知識があること。

内容

1. 本番適用/リリースのコツ
2. 業務監視、操作のコツ
3. カレンダー/スケジュール運用のコツ
4. セキュアな運用設計のコツ

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 11 対応です。
- ・JP1 Version 11以前のバージョンをご利用の方でもご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ093 JP1

**JP1プロフェッショナル
IT運用自動化 (Version 11)**

2日間

JP1/AOを使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AOの概要が説明できる。
- ・JP1/AOのインストールができる。
- ・サービスの登録、設定、実行の操作ができる。
- ・サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。
- ・JP1/Navigation Platformと連携した運用ができる。

対象者 JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方、Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

前提知識

内容

1. JP1/AOの概要
2. インストールとセットアップ
3. JP1/AOによるオペレーションの自動化
4. サービステンプレートの作成
5. 人を介す自動化

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ096 JP1

**JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理 1
—ネットワーク管理基盤— (Version 11)**

2日間

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager (JP1/NNMi) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/NNMiのシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/NNMiのインストール後のセットアップができる。
- ・監視環境の構築 (検出、ポーリング設定) ができる。
- ・インシデントの管理ができる。

対象者 JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎 II」コース、または【ナビ機能付き】ネットワーク基礎 II—TCP/IPの仕組み—eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内容

1. JP1によるネットワーク管理の概要
 - (1) JP1によるネットワーク管理
 - (2) ネットワーク管理オプション製品
 - (3) JP1/NNMiを使ったネットワーク管理の概要
2. セットアップ
 - (1) システム構成
 - (2) ユーザアカウントの作成
 - (3) 通信の基本設定
3. 監視対象の登録
 - (1) ノードの登録
 - (2) 管理モード
 - (3) ノードグループの作成
4. 障害監視・性能監視
 - (1) 障害監視の動作
 - (2) 監視設定
 - (3) 性能情報の利用
5. インシデント管理
 - (1) インシデントの監視
 - (2) インシデントへの対応
 - (3) インシデント管理の設定

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ097/JPJ097T JP1

**JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理 2
—システムリソース管理— (Version 11)**

1日間

JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- ・JP1/SSOのインストールができる。
- ・システムリソースの参照、収集設定ができる。
- ・プロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- ・JP1/NNMiとの連携設定ができる。

対象者 JP1/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1—ネットワーク管理基盤— (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1によるリソース管理の概要
2. セットアップ
 - (1) システム構成
 - (2) 監視マネージャのセットアップ
 - (3) 監視サーバのセットアップ
 - (4) リモート操作端末のセットアップ
 - (5) SSOコントロールの設定
3. システムリソース管理
 - (1) システムリソースの収集
 - (2) 収集したシステムリソースの参照
 - (3) レポート機能
4. プロセスおよびサービス監視
 - (1) プロセスおよびサービス監視設定
 - (2) プロセスおよびサービス状態の参照
5. JP1/NNMiとの連携設定
 - (1) リソース収集でJP1/SSOが発行するイベント
 - (2) プロセスおよびサービス監視でJP1/SSOが発行するイベント
 - (3) マップ連携、アクション連携

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定プロフェッショナル (ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でもご受講できます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。コースコード: JPJ097 (研修のみ) コースコード: JPJ097T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ098/JPJ098T JP1

マシン実習

3日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 11)

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Network Node Manager i (JP1/NNMI) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。または、JP1/SNMP System Observer (JP1/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセ監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください

<JPJ096>
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1
-ネットワーク管理基礎- (Version 11)

<JPJ097/JPJ097T>
JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2
-システムリソース管理- (Version 11)

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11に対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード：JPJ098 (研修のみ)
コースコード：JPJ098T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ094/JPJ094T JP1

マシン実習

2日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)

JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用した資産管理、配布管理、セキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスができる。
- ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。
- セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。
- パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者 JP1/IT Desktop Management 2 (JP1/ITDM2) を使用してコンピュータの資産管理、配布管理、セキュリティ管理を実施する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

- 資産・配布管理の概要
 - JP1 の概要
 - JP1 による資産・配布管理の概要
 - JP1/IT Desktop Management 2 で管理できる情報
- JP1/ITDM2 の基本操作
 - ログイン操作
 - 操作画面の利用
- 機器管理
 - 機器管理の概要
 - 管理対象機器の設定
 - 最新機器情報の取得
 - 機器情報の手動登録
 - 機器情報の削除
- 資産管理
 - 資産管理の概要
 - ハードウェア資産の管理
 - ソフトウェアライセンスの管理
 - 契約情報の管理
- 配布管理
 - 配布管理の概要
 - リモートインストール
 - いろいろなソフトウェア配布
 - インストーラを使用したソフトウェア配布
- セキュリティ管理
 - セキュリティ管理の概要
 - セキュリティポリシーの作成
 - セキュリティ状況の確認
- リモートコントロール機能
 - リモートコントロール機能の概要
 - コンピュータのリモートコントロールをするための準備
 - リモートコントロールの基本操作
- スマートデバイス管理
 - スマートデバイス管理の概要
 - スマートデバイス管理機能

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11に対応です。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード：JPJ094 (研修のみ)
コースコード：JPJ094T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ101/JPJ101T JP1

マシン実習

1日間

JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 (Version 11)

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
- 秘文DCIによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
- 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
- 秘文 Serverの設定と操作ができる。

対象者 JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

- JP1/秘文の概要
- 秘文 DC、秘文 Server の主要機能
- 秘文 DE (FS)、秘文 Server (ファイルサーバ) の主要機能
- 秘文 DP の主要機能

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(セキュリティ管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11に対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード：JPJ101 (研修のみ)
コースコード：JPJ101T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ089/JPJ089T JP1

マシン実習

2日間

JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内容

- パフォーマンス管理の概要
- JP1/PFMによる稼働情報監視
 - 監視コンソールサーバへのログイン
 - サーバ稼働監視
 - アラームによる稼働監視
 - レポートによるパフォーマンスデータの参照
- JP1/PFMのシステム構築
 - JP1/PFMのシステム構成
 - JP1/PFMのインストールとセットアップ
 - JP1/PFM-RMのセットアップ(エージェントレス構成)
 - JP1/PFMの起動と停止
 - ユーザーアカウントの管理
- 監視エージェントの設定
 - エージェント稼働の設定
 - パフォーマンスデータの収集設定
- レポート定義
 - レポートの定義の概要
 - クワイグガイドを使用したレポート作成
 - レポート定義のカスタマイズ
 - 新規レポートの定義
- アラーム定義
 - アラームの概要
 - クワイグガイドでのアラームの作成
 - アラーム履歴でのアラーム作成
 - プロセス・サービスの稼働状況監視
 - 複数アラームテーブルの監視
 - 稼働状況のサマリ表示
- 統合コンソールとの連携
 - 統合コンソールとの連携の概要
 - サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

備考

- このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。
- このコースは、JP1 Version 11に対応です。
- JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- コースコード：JPJ089 (研修のみ)
コースコード：JPJ089T (試験付)
- 試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- 試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPE321 JP1

マシン実習

平均12時間

<eラーニング> [マシン演習付き] JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内容

- パフォーマンス管理の概要
- JP1/PFMによる稼働情報監視
- JP1/PFMのシステム構築
- 監視エージェントの設定
- レポート定義
- アラーム定義
- 統合コンソールとの連携
- 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、JP1 Version 11に対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE308 JP1

マシン実習

平均12時間

<eラーニング> [マシン演習付き] ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 -システム監視- (Version 10)

JP1/Integrated Management (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- イベント監視ページのカスタマイズができる。
- セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルタ設定)ができる。
- 自動アクションの設定ができる。
- 重要なイベントを検索できる。
- 必要なイベントを検索できる。
- 他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 「JP1機能概説 (Version 10) eラーニング」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

- 統合管理の概要
- システム監視
 - イベントコンソール、監視ツリーによる監視
 - フィルタ機能
- システム障害の検知
 - 自動アクション
 - 重要イベント監視
- システム障害の調査・対処
 - ガイド機能
 - イベント検索
 - モニター起動
 - 統合機能メニュー
 - コマンド実行

備考

- 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- このコースは、JP1 Version 10に対応です。
- このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- このコースには、資格認定試験はありません。
- 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- 学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視 - (Version 10)」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE309 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2
-システム設定-(Version 10)**

平均12時間

JP1/Integrated Management (JP1/IM)のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
- ・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
- ・マネージャ・エージェントを構築できる。
- ・ログファイル監視の設定ができる。
- ・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 【【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1-システム監視-(Version 10)】eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の導入
 - (1)インストール
 - (2)IMデータベースの構築
2. イベントの集中管理
3. ユーザー管理機能
 - (1)ユーザー認証設定
 - (2)ユーザーマッピング設定
4. 監視対象の設定
 - (1)イベント変換設定
 - (2)リモート監視
5. 監視画面の設定
 - (1)監視ツリー設定
 - (2)ビジュアル監視画面設定
6. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE310 JP1

**<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM
(Version 10)**

平均12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM)製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- ・パフォーマンスデータの収集ができる。
- ・レポート、アラームの作成、操作ができる。
- ・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内容

1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。 <https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただけます。
- ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル アベイラビリティ管理 (Version 10)」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法を確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPJ100/JPJ100T JP1

**JP1プロフェッショナル
バックアップ管理 (Version 11)**

1日間

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのアーキテクチャを説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
- ・JP1/VERITAS NetBackupのインストールとセットアップができる。

対象者 JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があり、かつ一般的なバックアップの基礎知識があること。

内容

1. JP1/VERITAS NetBackup概要
 - (1)バックアップとリストアの基礎知識
 - (2)JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
 - (3)JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
2. インストールと環境設定
 - (1)JP1/VERITAS NetBackupのインストール
 - (2)JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
3. バックアップとリストア
 - (1)JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
 - (2)JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
4. 高度なバックアップ
 - (1)このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 - (2)このコースは、「JP1認定プロフェッショナル(バックアップ管理)」資格に準拠したコースです。
 - (3)このコースは、JP1 Version 11対応です。
 - (4)マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - (5)このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - (6)このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
 - (7)コースコード: JPJ100 (研修のみ)
 - (8)コースコード: JPJ100T (試験付)

備考

- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

JPJ211/JPJ211T JP1

**JP1コンサルタント ジョブ管理
-チューニング編-(Version 11)**

1日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を中心としたジョブ管理基盤を設計するにあたり、環境要件、機能要件、運用要件、性能等のトラブル回避の観点でのチューニングポイントについて学習します。

到達目標

- ・顧客要件に応じたJP1/AJS3の設計ができる。
- ・JP1/AJS3の性能等のトラブルを考慮したJP1/AJS3の設計ができる。

対象者 JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(ジョブ管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1コンサルタント ジョブ管理-システム設計編-(Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 環境に関するチューニング
2. 機能に関するチューニング
3. 運用に関するチューニング
4. 性能に関するチューニング
5. 運用上の注意事項

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ211 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ211T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ210 JP1

**JP1コンサルタント ジョブ管理
-システム設計編-(Version 11)**

1日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)を中心としたジョブ管理基盤を設計するための基本的な知識を学習します。要件の確認からシステム構成設計、ジョブ運用設計までの一連の流れを学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3を中心としたジョブ管理基盤を設計するための基本的な知識を修得できる。

対象者 JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1コンサルタント資格(ジョブ管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 11)」および「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 11)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. はじめに
2. 顧客要件の確認
3. ジョブ管理構成設計
4. ジョブ管理機能設計
5. ジョブ管理運用設計
6. ジョブネット設計方針策定
7. 基本設計以降の工程

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ジョブ管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

JPJ212/JPJ212T JP1

**JP1コンサルタント 資産・配布管理
(Version 11)**

1日間

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標

- ・JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(資産・配布管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. システム要件とシステム構成
2. 設計
3. 構築
4. 運用時の注意事項、事例紹介

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(資産・配布管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ212 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ212T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ208/JPJ208T JP1

レクチャ

1日間

JP1コンサルタント 統合管理 (Version 11)

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を中心としたJP1統合管理製品の導入・設計・構築するための基本的な知識を学習します。要件の確認から、監視運用設計、構築までの一連の流れを学習します。

到達目標 JP1/IMを中心としたJP1統合管理製品の導入・設計・構築するための基本的な知識を修得できる。

対象者 JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(統合管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 11)」および「JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 11)」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 想定するシステム構成と顧客要件
2. 顧客要件の整理
3. 各種ナレッジ
(導入事例、運用に向けた留意事項、障害事例)

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(統合管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ208 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ208T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ209/JPJ209T JP1

レクチャ

1日間

JP1コンサルタント パフォーマンス管理 (Version 11)

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者 JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(パフォーマンス管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 (Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 想定するシステム構成と顧客要件
2. 顧客要件の整理
3. 各種ナレッジ
(導入事例、運用に向けた留意事項、障害事例)

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(パフォーマンス管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ209 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ209T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ213/JPJ213T JP1

レクチャ

1日間

JP1コンサルタント ネットワーク管理 (Version 11)

JP1ネットワーク管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格(ネットワーク管理)の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1-ネットワーク管理基盤-(Version 11)」および「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2-システムリソース管理-(Version 11)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 想定するお客様環境例
2. 監視要件の整理
3. 構築・運用に関するノウハウ

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、「JP1認定コンサルタント(ネットワーク管理)」資格に準拠したコースです。
- ・このコースは、JP1 Version 11対応です。
- ・JP1 Version 10をご利用の方でも受講できます。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようお願いいたします。
- ・コースコード: JPJ213 (研修のみ)
- ・コースコード: JPJ213T (試験付)
- ・試験付コースは、研修終了後(16:30以降)にJP1試験を行います。
- ・試験付コースにお申し込みの方は、「JP1技術者資格認定試験 定期試験のご案内」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。
- ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。

JPJ065 JP1

マシン実習

1日間

休講

JP1操作入門 (Version 10)

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1の主要5製品の特徴を説明できる。
- ・JP1/Automatic Job Management System3 (ジョブ管理)で業務を自動実行するための基本操作ができる。
- ・JP1/IT Desktop Management2 (資産・配布管理)で資産管理をするための基本操作ができる。
- ・JP1/Cm2/Network Node Manager i (ネットワーク管理)でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
- ・JP1/Performance Management (アベイラビリティ管理)で稼働情報を監視するための基本操作ができる。
- ・JP1/Integrated Management Manager (統合管理)でシステム監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方、JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があり、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内容

1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. アベイラビリティ管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPE006 JP1

動画

平均6時間

<eラーニング> JP1機能概説 (Version 10)

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標

- ・JP1製品の特徴が説明できる。
- ・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
- ・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内容

1. JP1の基礎知識
2. 統合管理
3. サービスレベル管理
4. アベイラビリティ管理
5. IT運用自動化
6. ジョブ管理
7. 資産・配布管理
8. セキュリティ管理
9. ネットワーク管理
10. ストレンジ管理
11. 修了試験 (JP1認定資格試験ではありません)

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・このコースには、資格認定試験はありません。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供します。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・このコースは、旧「JP1エンジニア機能概説 (Version 10)」コースと同等の内容です。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

JPJ067 JP1

マシン実習

2日間

休講

JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 10)

JP1/Integrated Management (JP1/IM)を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
- ・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
- ・イベント監視ページのカスタマイズができる。
- ・セントラルコンソールに表示するイベントの設定(フィルター設定)ができる。
- ・自動アクションの設定ができる。
- ・重要イベントページのカスタマイズができる。
- ・必要なイベントを検索できる。
- ・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
- ・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1機能概説 (Version 10)」eラーニングコース、または「JP1操作入門 (Version 10)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の概要
2. システム監視
 - (1) イベントコンソール、監視ツリーによる監視
 - (2) フィルター機能
3. システム障害の検知
 - (1) 自動アクション
 - (2) 重要イベント監視
4. システム障害の調査・対応
 - (1) ガイド機能
 - (2) イベント検索
 - (3) モニター起動
 - (4) 統合機能メニュー
 - (5) コマンド実行

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ068 JP1 休講

JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 10)

2日間

JP1/Integrated Management (JP1/IM) のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・インストールするうえで必要な製品構成を説明できる。
- ・認証サーバを構築しJP1ユーザーを管理できる。
- ・マネージャ・エージェントを構築できる。
- ・ログファイル監視の設定ができる。
- ・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
- ・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version10)」コース、または「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1-システム監視-(Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. 統合管理の導入
 - (1) インストール
 - (2) IMデータベースの構築
2. イベントの集中管理
3. ユーザー管理機能
 - (1) ユーザー認証設定
 - (2) ユーザーマッピング設定
4. 監視対象の設定
 - (1) イベント変換設定
 - (2) リモート監視
5. 監視画面の設定
 - (1) 監視ツリー設定
 - (2) ビジュアル監視画面設定

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ069 JP1 休講

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース (Version 10)

4日間

JP1/Integrated Management (JP1/IM) を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください

<JPJ067>
JP1プロフェッショナル 統合管理 1-システム監視-(Version 10)

<JPJ068>
JP1プロフェッショナル 統合管理 2-システム設定-(Version 10)

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ070 JP1 休講

JP1プロフェッショナル アペイラビリティ管理 (Version 10)

2日間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management (JP1/PFM) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- ・パフォーマンスデータの収集ができる。
- ・レポート、アラームの作成、操作ができる。
- ・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内容

1. アペイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ071 JP1 休講

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 10)

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- ・自動化する業務(ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
- ・運用スケジュール(運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
- ・業務を実行する条件(イベント監視、起動条件)の定義ができる。
- ・ジョブネットの実行(即時、計画、確定)および監視(ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況)の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容

1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 - (1) ジョブ定義
 - (2) 即時実行登録
 - (3) ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 - (1) カレンダー情報の設定
 - (2) スケジュール設定
 - (3) 計画/確定実行登録
 - (4) 実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 - (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 - (2) 起動条件の設定

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ072 JP1 休講

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 10)

2日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標

- ・JP1/AJS3のインストールができる。
- ・エージェントの追加・変更ができる。
- ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング) の設定ができる。
- ・JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。
- ・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- ・運用中のジョブネットの変更(ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 10)」コース、または「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JP1/AJS3のインストール
 - (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
 - (1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
 - (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. ジョブネットの運用
 - (1) ジョブネット定義の退避・回復
 - (2) 運用状況の監視
 - (3) 運用中のジョブネット変更
5. システムのバックアップとリカバリー
 - (1) JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー
 - (2) JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ073 JP1 休講

JP1プロフェッショナル ジョブ管理セットコース (Version 10)

4日間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3) を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください

<JPJ071>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1-ジョブ定義・監視-(Version 10)

<JPJ072>
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2-システム設定・運用管理-(Version 10)

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPE311 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1
—ジョブ定義・監視— (Version 10)

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。
 ・運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。
 ・実行条件の定義、実行、監視操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. JP1/AJS3の概要
 2. 業務の自動化
 (1) ジョブ定義 (2) 即時実行登録
 (3) ジョブ実行状況の監視
 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 (1) カレンダー情報の設定 (2) スケジュール設定
 (3) 計画/確定実行登録
 (4) 実行スケジュールの確認
 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 (2) 起動条件の設定
 5. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・このコースには、資格認定試験はありません。
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE312 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2
—システム設定・運用管理— (Version 10)

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・JP1/AJS3のインストールができる。
 ・エージェントの追加・変更ができる。
 ・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報 (JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング)の設定ができる。
 ・JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。
 ・ジョブネットの定義の選退・回復、運用状況監視の操作ができる。
 ・運用中のジョブネットの変更 (ジョブネット変更・リリース管理)ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 「ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理1—ジョブ定義・監視— (Version 10)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. JP1/AJS3のインストール
 (1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
 2. ジョブ実行環境の設定
 (1) エージェント管理機能の設定
 3. ユーザー管理機能の設定
 (1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
 4. ジョブネットの運用
 (1) ジョブネット定義の選退・回復
 (2) 運用状況の監視
 (3) 運用中のジョブネット変更
 5. システムのバックアップとリカバリー
 (1) JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー
 (2) JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー
 6. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・このコースには、資格認定試験はありません。
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPE302 JP1

<eラーニング>【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3
—ジョブ定義・監視— (Version 9)

平均12時間

JP1/Automatic Job Management System 3 (JP1/AJS3)の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・自動化する業務 (ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ)の定義ができる。
 ・運用スケジュール (運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど)の設定ができる。
 ・業務を実行する条件 (イベント監視、起動条件)の定義ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. JP1/AJS3の概要
 2. 業務の自動化
 (1) ジョブ定義 (2) 即時実行登録
 (3) ジョブ実行状況の監視
 3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 (1) カレンダー情報の設定 (2) スケジュール設定
 (3) 計画/確定実行登録 (4) 実行スケジュールの確認
 4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 (1) ファイル更新契機のジョブの実行
 (2) 起動条件の設定
 5. 修了試験 (JP1 認定資格試験ではありません)

備考 ・説明画面で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
 ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・このコースは、JP1 Version 9対応です。
 ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。音声はありません。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・学習開始日10営業日前を過ぎるキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・このコースは、旧「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1—ジョブ定義・監視— (Version 9)」コース (集合研修)と同等の内容です。また、旧「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース (Version 9)」コースと学習内容が重複します。該当する集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 JP1 Version 11のご受講を希望される方は、「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1—ジョブ定義・監視— (Version 11)」コース (JP1090)をご受講ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

JPJ080 JP1

JP1プロフェッショナル
資産・配布管理 1
—ソフトウェア配布・資産管理— (Version 10)

2日間

JP1/NETM/DMを使用した資産管理、ソフトウェア配布、クライアント管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・JP1/NETM/DMのシステム構成と機能を説明できる。
 ・JP1/NETM/DMのインストールができる。
 ・監視対象のシステム構成を設定できる。
 ・資産情報 (ハードウェア、ソフトウェア、ユーザーインベントリ)の取得操作ができる。
 ・資産情報の集計、CSV出力の操作ができる。
 ・ソフトウェアの稼働監視の設定、監視操作ができる。
 ・リモートインストールのバッチ作成、実行内容の設定、実行操作ができる。
 ・リモートコントロールの操作、環境設定ができる。

対象者 JP1/NETM/DMを使用して資産管理、クライアント管理を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. 資産・配布管理の概要
 2. JP1/NETM/DMのインストールとセットアップ
 3. 資産管理
 (1) 資産情報の取得
 (2) 資産情報の管理
 4. クライアント管理
 (1) 稼働監視機能
 (2) 操作ログ参照機能
 (3) メッセージ通知
 5. ソフトウェア配布管理
 6. リモートコントロール機能

備考 ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ075 JP1

JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理 1
—ネットワーク管理基盤— (Version 10)

2日間

ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Cm2/Network Node Manager i (JP1/Cm2/NNMi) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・JP1/Cm2/NNMiのシステム構成と基本機能を説明できる。
 ・JP1/Cm2/NNMiのインストールとセットアップができる。
 ・監視環境の構築 (検出、ポーリング設定)ができる。
 ・インシデントの管理ができる。

対象者 JP1/Cm2/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「【ナビ機能付き】ネットワーク基礎Ⅱ—TCP/IPの仕組み—」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. JP1によるネットワーク管理の概要
 2. インストールとセットアップ
 3. 監視対象の登録
 4. 障害監視・性能監視
 5. インシデント管理

備考 ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ076 JP1

JP1プロフェッショナル
ネットワーク管理 2
—システムリソース管理— (Version 10)

1日間

JP1/Cm2/SNMP System Observer (JP1/Cm2/SSO)を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・JP1/Cm2/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
 ・JP1/Cm2/SSOのインストールができる。
 ・システムリソースの参照、収集設定ができる。
 ・プロセスリソースの状態監視、監視設定、自動アクション設定ができる。

対象者 JP1/Cm2/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1—ネットワーク管理基盤— (Version 10)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. JP1/Cm2/SSOの概要
 2. JP1/Cm2/SSOのインストール
 3. システムリソース管理
 4. プロセスおよびサーバ監視

備考 ・このコースは、9:30~17:00の開催とさせていただきます。
 ・このコースは、JP1 Version 10対応です。
 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

JPJ077	JP1
	JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 セットコース (Version 10) 休講
3日間	
ネットワーク接続機器の監視、管理を行うJP1/Cm2/Network Node Manager i (JP1/Cm2/NNMi) 製品の機能について、マシン実習を通して学習します。また、JP1/Cm2/SNMP System Observer (JP1/Cm2/SSO) を使用したサーバのリソース管理、プロセス監視の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。	
<p>●このコースは、セットコースのご案内となります。各コースの詳細情報をご参照ください</p> <p><JPJ075> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 1 -ネットワーク管理基盤- (Version 10)</p> <p><JPJ076> JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 2 -システムリソース管理- (Version 10)</p>	
<p>備考 ・このコースは、1日目と2日目は、9:30~16:30、3日目は、9:30~17:00の開催とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>	

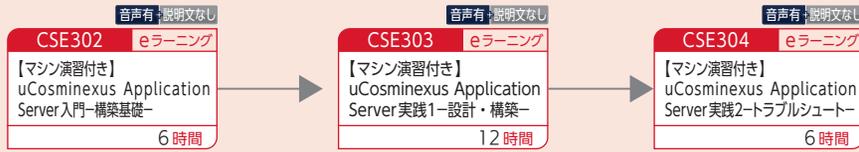
JPJ079	JP1
	JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 -情報漏えい防止- (Version 10) 休講
1日間	
JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。	
<p>到達目標 ・ JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JP1/秘文のインストールとセットアップができる。 ・ 秘文ICによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。 ・ 秘文IFによる持出制御の操作ができる。 ・ JP1/秘文サーバの設定と操作ができる。 	
<p>対象者 JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方。</p>	
<p>前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。</p>	
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1/秘文の概要 2. 秘文IC、秘文ODEの主要機能 3. 秘文IF、秘文サーバの主要機能 4. 秘文IS、秘文ファイルサーバの主要機能 5. 秘文LM 	
<p>備考 ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、JP1 Version 10対応です。 ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 <p>※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。</p>	

11653	JP1
	【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター (Version 11)
1日間	
お客様に対し最適なJP1システムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。	
<p>到達目標 ・ JP1製品概要が説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お客様の要望に対し製品を提案できる。 ・ JP1製品の価格見積りができる。 	
<p>対象者 ・ お客様に対し最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。 	
<p>前提知識 コンピュータの基礎知識があること。</p>	
<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JP1の基礎知識 (JP1の特徴、製品体系など) 2. JP1の製品概要 (JP1各製品の紹介など) 3. サービス商品 (運用管理のサービス商品の紹介など) 4. 拡張ツールの紹介 (拡張ツールとその活用場面など) 5. 見積りの基礎知識 (JP1製品の提供形態とライセンス体系など) 6. 提案する製品の特定と見積り方法 7. JP1認定セールスコーディネーター資格試験 	
<p>備考 ・このコースは、9:30~17:20の開催とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このコースは、日立パートナー様限定で提供するものです。 ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。 ・試験については、「日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度」の「受験にあたってのお願い」をご覧ください。 ・JP1技術者資格認定制度については、ホームページをご覧ください。 ・認定試験の受験料は、受講料に含まれます。 	

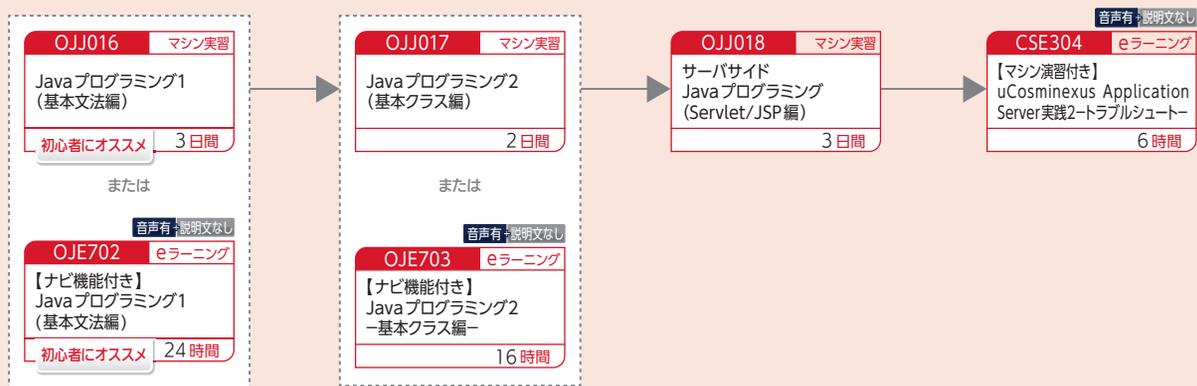
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

• uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



• uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



• uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



※下記集合研修のコースについてお問い合わせがある場合は、日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでご連絡願います。

[CSJ017 uCosminexus Application Server入門-構築基礎-]
[CSJ018 uCosminexus Application Server実践1-設計・構築-]

【日立オープンミドルウェア技術者認定センター問い合わせ窓口】
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

- 音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

CSE302 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server 入門
一構築基礎一

平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application ServerのインストールからWebシステムの構築までを扱います。

到達目標 ・ uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
 ・ uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識 Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内容 1. アプリケーションサーバ概要
 2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
 3. uCosminexus Application Serverのインストール
 4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
 5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
 6. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・ このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース(CSJ017)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>Cosminexus エンジン アプリケーションサーバシステム構築基礎-」コースの名称を変更したものです。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE303 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server 実践1
一設計・構築一

平均12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標 ・ 要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
 ・ システム構築に使用するパラメータを設計できる。
 ・ システムの構築・運用ができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識 「uCosminexus Application Server 入門-構築基礎-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内容 1. 作業概要とシステム基本構成
 2. システム基本設計
 3. システム詳細設計
 4. システム構築
 5. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・ このコースは、集合研修「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース(CSJ018)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE304 uCosminexus Application Server

<eラーニング>【マシン演習付き】
uCosminexus Application Server 実践2
一トラブルシュート一

平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標 ・ トラブルシュートの流れを説明できる。
 ・ 代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識 「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内容 1. トラブルシュートの概要
 2. トラブルシュート手順
 3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
 4. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 ・ このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシュート-」コース(集合研修)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

CSE001 uCosminexus Application Server

<eラーニング>
uCosminexus Application Server 実践3
一性能設計・性能対策一

平均6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標 ・ 性能設計と性能検証の関係について説明できる。
 ・ 要件を満たす性能設計ができる。
 ・ ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる

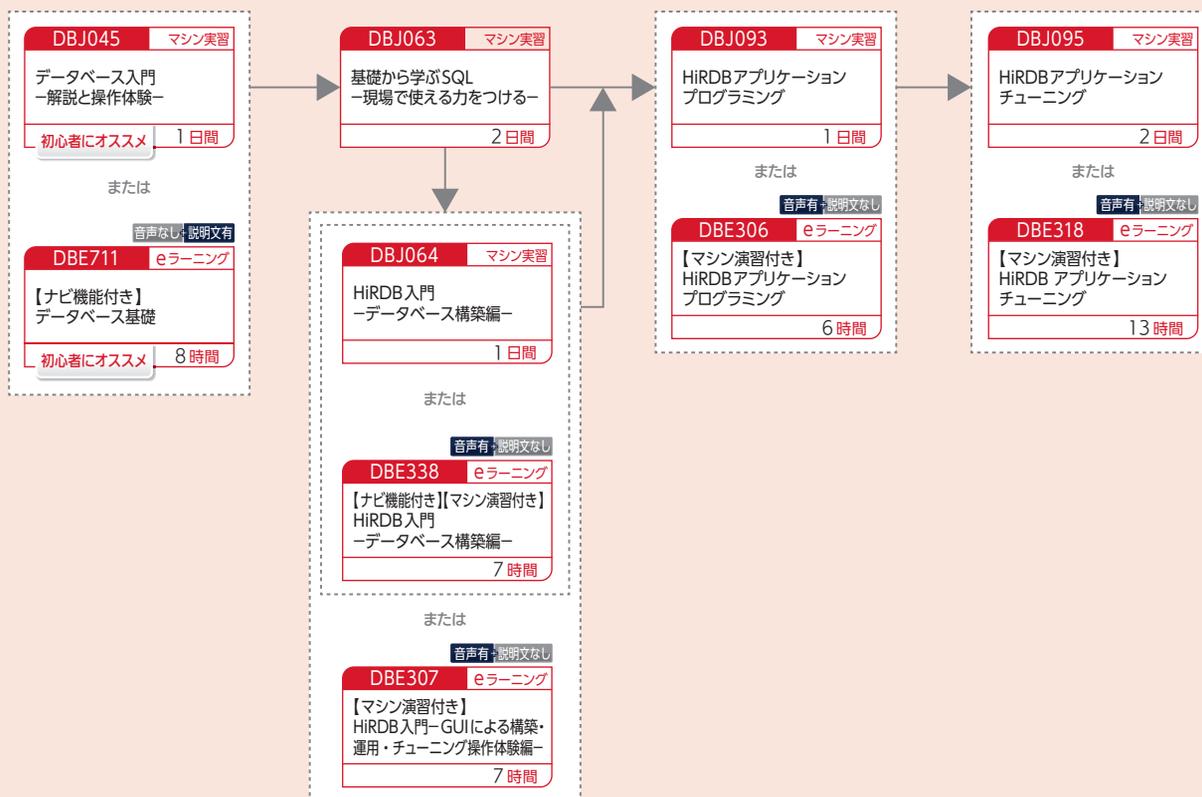
対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識 「uCosminexus Application Server 実践 1-設計・構築-」および「uCosminexus Application Server 実践 2-トラブルシュート-」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

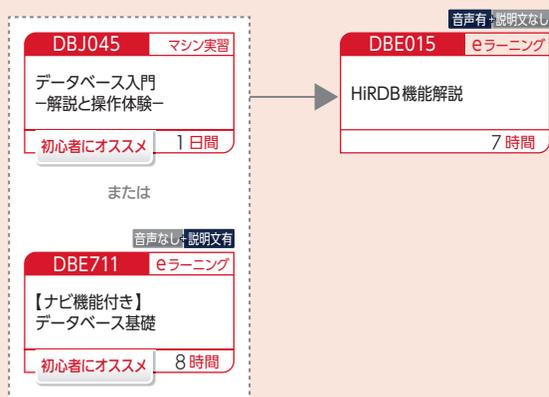
内容 1. 性能設計と性能検証
 2. 性能設計
 3. 性能検証とチューニング
 4. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・ このコースは、uCosminexus Application Server V9対応です。
 ・ このコースは、旧「uCosminexus Application Server 実践3-性能設計・性能対策-」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は別途使用料が追加されます。

● HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



● HiRDBの機能概要を修得したい方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ064 HiRDB

マシン実習
1日間

**HiRDB入門
—データベース構築編—**

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお勧めです。

到達目標 ・ HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・ 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HiRDBの概要
2. HiRDBインストール
3. HiRDB環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成

備考 ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。

DBE338 HiRDB

eラーニング
【ナビ機能付き】【マシン演習付き】
平均7時間

HiRDB入門—データベース構築編—

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャやHiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお勧めです。

到達目標 ・ HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・ 定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HiRDBの概要
2. HiRDBのインストール
3. HiRDBの環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成
9. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・ 学習教材は講義収録型コンテンツで提供します。
・ テキストや演習問題資料などは、セキュリティ設定したPDFファイルで提供します。
・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび日程変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・ 集合研修「HiRDB入門—データベース構築—」と同一内容です。
・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE307 HiRDB

eラーニング
【マシン演習付き】
平均7時間

HiRDB入門—GUIによる構築・運用・チューニング操作体験編—

HiRDBのGUIツールによる操作体験を通して、HiRDBの環境構築から運用・チューニングまでの概要を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・ 各種GUIツールの概要を理解し説明できる。
・ HiRDBの構築から運用・チューニングまでの概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBを使用したシステムの提案・構築・運用・アプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HiRDBの概要
2. HiRDBのアーキテクチャ
3. データベースの構築
4. HiRDBの開始/終了
5. ユーザ管理
6. 表とインデックスの作成
7. データロード
8. RDエリアのメンテナンス
9. パフォーマンスチューニング
10. バックアップ/リカバリ/オプション
11. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・ このコースは、旧「HiRDB入門—GUIによる構築・運用・チューニング操作体験—」コース(集合研修)をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE015 HiRDB

eラーニング
平均7時間

<eラーニング>HiRDB機能解説

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標 ・ HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・ HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. 並列データベースの技術
2. HiRDBの概要
3. データベースの構造
4. HiRDBの各種機能
5. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・ このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ092 HiRDB

マシン実習
2日間

HiRDBデータベース管理

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標 ・ HiRDBシステムの設計を行える。
・ HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
・ HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング

備考 ・ このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
・ このコースは、「HiRDBプラットフォームエンジニア—データベース管理—」コースの名称を変更したものです。

DBE305 HiRDB

eラーニング
【マシン演習付き】
平均12時間

HiRDBデータベース管理

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用(バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等)など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 ・ HiRDBシステムの設計を行える。
・ HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
・ HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング
8. 修了試験

備考 ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
・ 学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・ このコースは、集合研修「HiRDBデータベース管理」コース(DBJ092)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
・ このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDB プラットフォームエンジニア—データベース管理—」コースの名称を変更したものです。
・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBJ093 HiRDB

マシン実習
1日間

HiRDBアプリケーションプログラミング

HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を学習します。

到達目標 各種アプリケーション開発技術を用いHiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。

対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. HiRDBのアーキテクチャ
2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要
3. 表のデータ型
4. アプリケーションプログラムの実装
5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー
6. データベースセキュリティ

備考

- ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースは、「HiRDBアプリケーションエンジニア—データベースプログラミング—」コースの名称を変更したものです。

DBE306 HiRDB

eラーニング
マシン実習
平均6時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング

HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 各種アプリケーション開発技術を用い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。

対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL—現場で使える力をつける—」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. HiRDBのアーキテクチャ
2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要
3. 表のデータ型
4. アプリケーションプログラムの実装
5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー
6. データベースセキュリティ
7. 修了試験

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース(DBJ093)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、「【マシン演習付き】<eラーニング>HiRDBアプリケーションエンジニア—データベースプログラミング—」コースの名称を変更したものです。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE026 HiRDB

eラーニング
動画
平均6時間

<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング

HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。

到達目標 HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. パフォーマンスチューニング概要
2. データベース設計
3. グローバルバッファのチューニング
4. ログバッファのチューニング
5. SQLオブジェクトバッファのチューニング
6. 修了試験

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ095 HiRDB

マシン実習
2日間

HiRDBアプリケーションチューニング

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を学習します。

到達目標

- ・応用的なSQLを用いHiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。
- ・HiRDBに接続するアプリケーションのパフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。

前提知識 「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. SQLコーディングテクニック
 - (1) 応用的なSQL
 - (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
2. 排他制御
3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
 - (1) アクセスパス
 - (2) SQLとインデックス
 - (3) SQL最適化
4. SQLチューニング
 - (1) 統計情報の収集
 - (2) SQLチューニング
 - (3) HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング

備考

- ・このコースは、9:30～17:00の開催とさせていただきます。
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・このコースは、「HiRDBアプリケーションプロフェッショナル—SQLチューニング—」コースの名称を変更したものです。

DBE318 HiRDB

eラーニング
マシン実習
平均13時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・応用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。
- ・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術が必要とする方。

前提知識 「HiRDBアプリケーションプログラミング」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. SQLコーディングテクニック
 - (1) 応用的なSQL
 - (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
2. 排他制御
 - (1) 排他制御の概要
 - (2) Isolationレベルの制御
 - (3) デッドロック対策
3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
 - (1) アクセスパス
 - (2) SQLとインデックス
 - (3) SQL最適化
4. SQLチューニング
 - (1) 統計情報の収集
 - (2) SQLチューニング
 - (3) HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
5. 修了試験

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、集合研修「HiRDBアプリケーションチューニング」コース(DBJ095)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

DBE330 HiRDB

eラーニング
マシン実習
平均12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリと クラスタリング

HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたリカバリ方法およびクラスタリング(系切り替え)技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標

- ・HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。
- ・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要
2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識
3. データベースのバックアップ
4. データベースのリカバリ
5. システムファイルの障害対処
6. クラスタリングの概要
7. クラスタリング環境の構築と運用
8. 修了試験

備考

- ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
- ・このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
- ・このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
- ・マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
- ・クラスタリングに関するマシン演習はありません。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
- ・学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
- ・学習開始日10営業日前を過ぎてのキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBE329 HiRDB

<eラーニング>【マシン演習付き】
HiRDBパラレルサーバ構築
 平均13時間

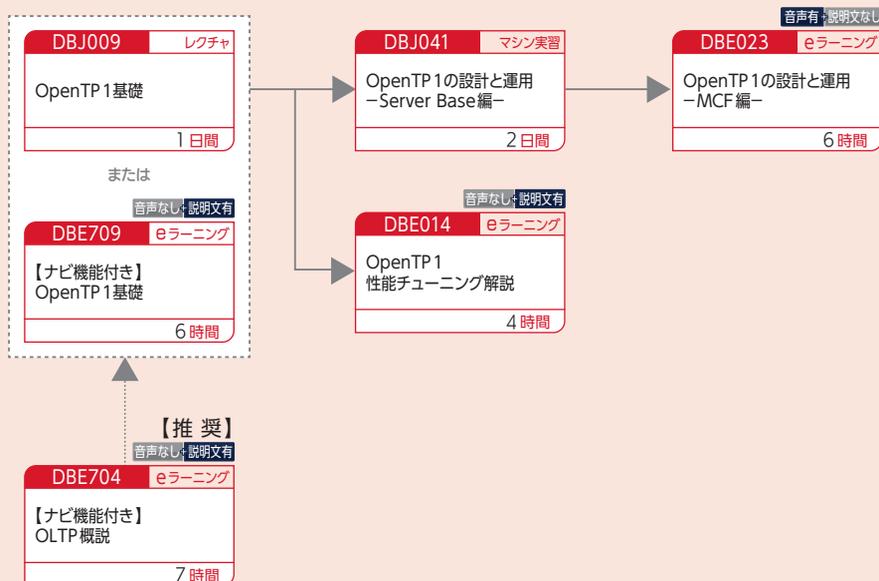
HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

- 到達目標**
- ・ HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。
 - ・ HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
 - ・ HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。
- 対象者**
- HiRDBのデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。
- 前提知識**
- 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 内容**
1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
 - (1) HiRDBパラレルサーバの構成
 - (2) HiRDBパラレルサーバの特長
 - (3) HiRDBパラレルサーバの採用基準
 2. 要件確認
 - (1) 要件確認の目的
 - (2) 要件確認項目一覧
 - (3) 項目の確認および調査
 - (4) BES数見積りに必要な項目の確認および調査
 3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
 - (1) 基本的なサーバの配置方針
 - (2) BESの配置および必要台数の決定
 - (3) FESの配置および必要台数の決定
 4. リソースの配置方針と容量見積り
 - (1) リソースの配置方針
 - (2) 容量見積り
 5. データベース構築
 - (1) データベース構築手順
 - (2) サーバマシン環境・データベース環境の決定
 - (3) システム定義ファイルの作成
 - (4) HiRDBファイルシステム領域の作成
 - (5) システムファイルの作成
 - (6) RDエリアの作成とHiRDBシステムの開始
 - (7) 表の定義
 6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
 - (1) 高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能
 - (2) HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
 7. 修了試験
- 備考**
- ・ 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 - ・ このコースは、学習教材およびマシン演習環境を提供するeラーニングです。
 - ・ このコースのマシン演習環境をご利用いただくには、下記の手順書に従って接続確認が必要です。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/pdf/course/guide/apply/manual.pdf>
 - ・ マシン実習は、Microsoft Windows環境で行います。
 - ・ このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
 - ・ 学習教材は、セキュリティ設定したPDFファイルで提供いたします。インターネット接続できるパソコンにてご参照ください。
 - ・ 学習開始日10営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
 - ・ このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 - ・ お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 - ・ このコースは、ヘルプデスクサービスを含みます。

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP 1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

• OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



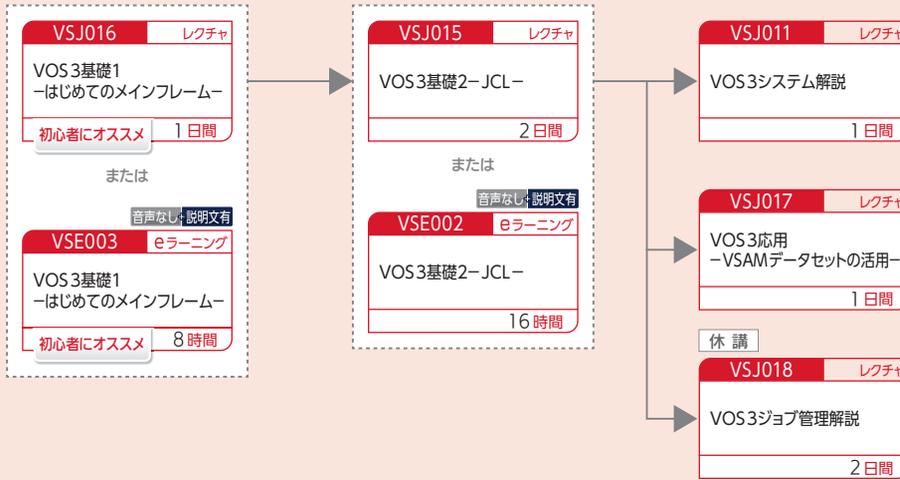
- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VOS3/VOS1/VOSK

日立メインフレーム OSであるVOS3、VOS1、VOSKの使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

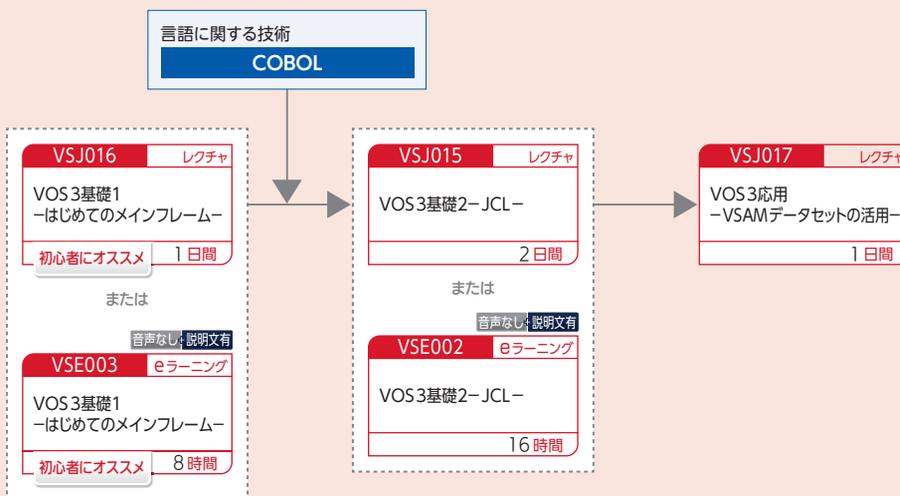
● VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



● VOS1システムの運用設計および実装・運用する方



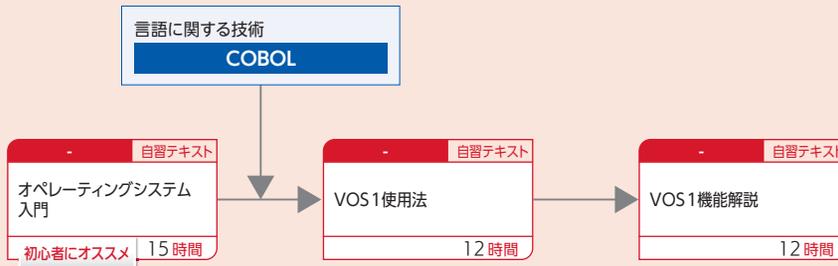
● VOS3システムでアプリケーションを開発する方



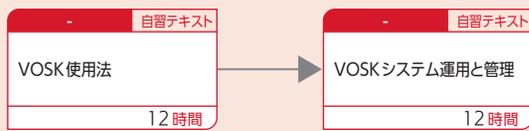
- 音声有・説明文有**：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし**：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有**：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

● VOS1システムでアプリケーションを開発する方



● VOSKシステムの運用設計および実装・運用する方



- 音声有・説明文有** : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有・説明文なし** : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし・説明文有** : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

VOS3/VOS1/VOSK

オペレーティングシステム入門 (自習テキスト)

平均15時間

オペレーティングシステムの基本概念、構成要素とその機能、およびハードウェアの関連知識を学習します。

到達目標

- ・オペレーティングシステムの目的や構成を説明できる。
- ・プログラムの翻訳、結合・編集を説明できる。
- ・入力リーダー、ジョブスケジューラ、出力ライタの役割が説明できる。
- ・入出力装置、ボリューム、データセットを説明できる。
- ・ファイル編成とアクセス方法を説明できる。
- ・マルチプログラミングのしくみを説明できる。

対象者 VOS3およびVOS1システムのシステム設計、またはプログラミングを行う方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. オペレーティングシステムとはなにか
2. プログラムの翻訳、結合・編集
3. ジョブの実行過程
4. データ入出力のしくみ
5. マルチプログラミングのしくみ

備考

- ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

VSJ016 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎1

—はじめてのメインフレーム—

1日間

メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSE003 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング>VOS3基礎1

—はじめてのメインフレーム—

平均8時間

メインフレームシステムの構成要素(ハードウェア/ソフトウェア)、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標

- ・メインフレームシステムの概要を説明できる。
- ・メインフレームシステムのデータ管理方法を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- ・メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます)
- ・このコースは、集合研修「VOS3基礎1—はじめてのメインフレーム—」コース(VSJ016)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。

VSJ015 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3基礎2

—JCL—

2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1—はじめてのメインフレーム—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方

備考

- ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)と同等の内容です。すでにご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。

VSE002 VOS3/VOS1/VOSK

<eラーニング>

VOS3基礎2

—JCL— (スマートデバイス対応)

平均16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL(ジョブ制御文)や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標

- ・JCL(ジョブ制御文)の役割を説明できる。
- ・JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- ・システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL(ジョブ制御文)を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1—はじめてのメインフレーム—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JCL(ジョブ制御文)の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
 - (1) JOB文
 - (2) EXEC文
 - (3) DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

備考

- ・説明の画面と説明テキストで学習するタイプのコースです。(音声の再生環境がなくても学習できます。)
- ・このコースは、旧「VOS3使用法」コース(集合研修)、または「VOS3基礎2—JCL—」コース(VSJ015)と同等の内容です。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
- ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
- ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
- ・このコースはスマートデバイス(iPadのみ)に対応しています。
- ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が付加されます。

VSJ011 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3システム解説

1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- ・VOS3システムの処理形態を説明できる。
- ・仮想空間の構成について説明できる。
- ・仮想空間と記憶装置(主記憶・補助記憶)の関係を説明できる。
- ・TRUSTの機能について説明できる。
- ・システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2—JCL—」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内容

1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
 - (1) バッチ
 - (2) TSS
 - (3) DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
 - (1) LPAの利用
 - (2) XPL
 - (3) VSAM HAF
 - (4) VIO
 - (5) SAM ESF
5. セキュリティ管理機能(TRUST)
6. システム運用の自動化機能
 - (1) AOMPLUS
 - (2) HOPSS3
 - (3) JP1との連携

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSJ017 VOS3/VOS1/VOSK

**VOS3応用
-VSAMデータセットの活用-**

1日間

VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。

到達目標

- ・ VSAMデータセットの特長を説明できる。
- ・ VSAMユーティリティの機能を説明できる。
- ・ ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
- ・ カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

前提知識 [VOS3基礎 2-JCL-]コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. データセットとディスクボリューム
2. VSAMデータセットの特長
3. ライブラリ管理システム LIME E2の機能
4. データセットのカタログ機能
5. VSAMユーティリティの機能

備考 このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。

VSJ018 VOS3/VOS1/VOSK

VOS3ジョブ管理解説

2日間

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

到達目標

- ・ JSS3の機能を説明できる。
- ・ JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
- ・ ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
- ・ ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 [VOS3基礎 2-JCL-]コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. JSS3の概要
2. JSS3の起動と初期設定
 - (1) JSS3起動用カタログプロシジャ
 - (2) JSS3初期設定パラメタ
3. ジョブの実行管理
 - (1) ジョブの流れ
 - (2) ジョブの入力
 - (3) ジョブの実行スケジュール
 - (4) ジョブの実行制御
 - (5) ジョブ結果の出力
 - (6) スプールとジョブキューの管理

備考

- ・ このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
- ・ ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

- VOS3/VOS1/VOSK

VOS1使用法 (自習テキスト)

平均12時間

VOS1のワークステーションを使ったプログラム作成、ジョブ作成、ジョブの実行、ライブラリ操作、ファイル操作およびパネル作成について、その方法を学習します。

到達目標

- ・ ワークステーションの操作ができる。
- ・ プログラムの作成ができる。
- ・ JCLプロシジャの作成ができる。
- ・ ジョブの実行ができる。
- ・ メンバの操作ができる。
- ・ ファイルの操作ができる。
- ・ パッチジョブの実行ができる。
- ・ パネルの作成ができる。

対象者 VOS1を使用してワークステーションからジョブを実行する方。

前提知識 「オペレーティングシステム入門」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ワークステーションの操作
2. プログラムの作成
3. JCLプロシジャの作成
4. ジョブの実行
5. メンバの操作
6. ファイルの操作
7. パッチジョブの実行
8. パネルの作成

備考

- ・ お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

- VOS3/VOS1/VOSK

VOS1機能解説 (自習テキスト)

平均12時間

VOS1システムを運用するために必要となるOSの諸機能と、その設定方法、ボリュームやファイルの運用方法、およびシステムの操作方法を学習します。

到達目標

- ・ ジョブの実行環境の設定ができる。
- ・ 対話処理環境の設定ができる。
- ・ ボリュームとファイルの運用ができる。
- ・ システムの操作ができる。

対象者 VOS1システムを運用・管理する方。

前提知識 「VOS1使用法」自習テキストコースを修了し、かつOJTを経験しているか、または同等の知識があること。

内容

1. ジョブの実行環境の設定
2. 対話処理環境の設定
3. ボリュームとファイルの運用
4. システムの操作

備考

- ・ お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

- VOS3/VOS1/VOSK

VOSK使用法 (自習テキスト)

平均12時間

VOSKの基本的な操作方法、ワークステーションを使ったジョブ作成、ジョブの実行、ファイル操作等を学習します。

到達目標

- ・ VOSKシステムの概要を説明できる。
- ・ VOSKの基礎知識を説明できる。
- ・ ワークステーションの基本操作ができる。
- ・ ファイルの取扱いができる。
- ・ ジョブの作成と実行ができる。
- ・ ジョブの実行結果の出力ができる。

対象者 VOSKを使用してワークステーションからジョブを実行する方。

前提知識 コンピュータに関する基礎知識があること。

内容

1. VOSKシステムの概要
2. VOSKの基礎知識
3. VOSKでの業務の開始と終了 (ワークステーションの基本操作)
4. ファイルの取扱い
5. ジョブの作成と実行
6. ジョブの実行結果の出力

備考

- ・ お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

- VOS3/VOS1/VOSK

VOSKシステム運用と管理 (自習テキスト)

平均12時間

VOSKシステムの機能を理解し、利用者管理、DB管理、ジョブ実行環境の管理、およびシステム全体の管理ができるために必要な知識を学習します。

到達目標

- ・ システムの運用と管理の概要を説明できる。
- ・ 使用者管理ができる。
- ・ ファイルシステムの運用と管理ができる。
- ・ ジョブ実行環境の設定ができる。
- ・ システムの操作ができる。
- ・ システムの管理ができる。

対象者 VOSKシステム全体を運用管理する方。

前提知識 「VOSK使用法」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. システムの運用と管理の概要
2. 使用者管理
3. ファイルシステムの運用と管理
4. ジョブ実行環境の設定
5. システムの操作
6. システムの管理

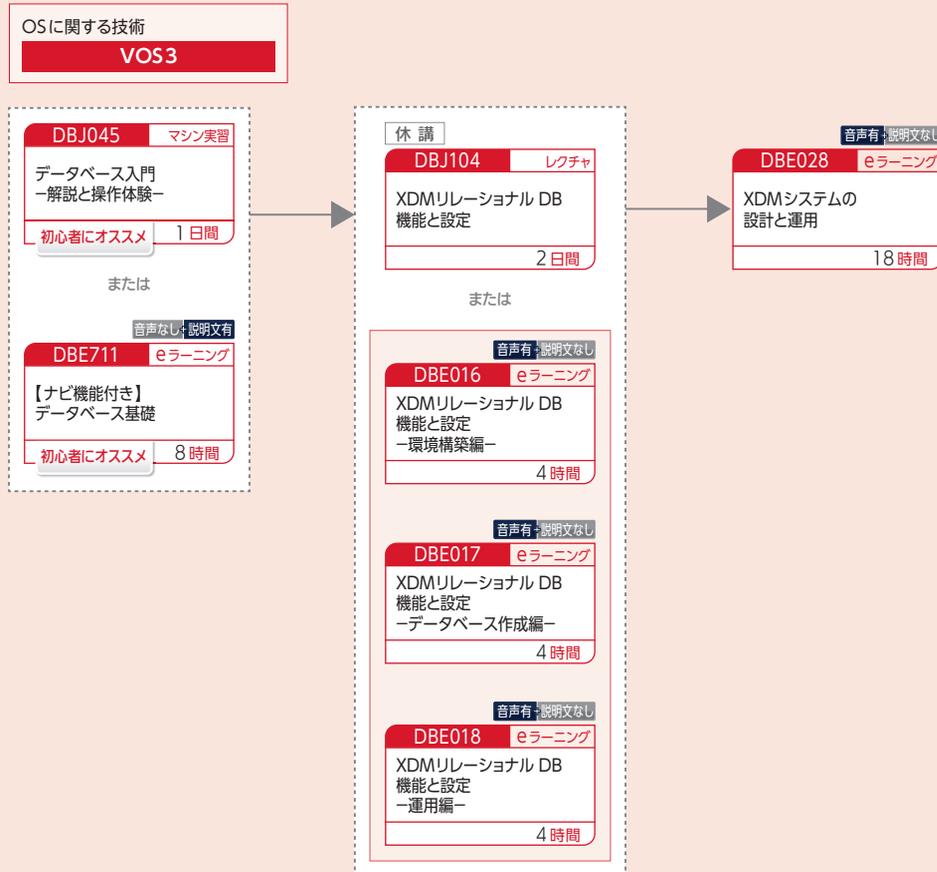
備考

- ・ お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

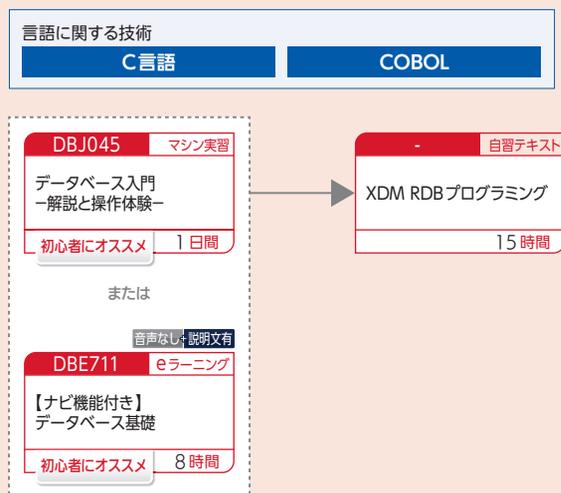
XDM / PDM II

日立メインフレーム DB/DCであるXDM、PDM IIの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

● XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



● XDMリレーショナルデータベースを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



音声有・説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

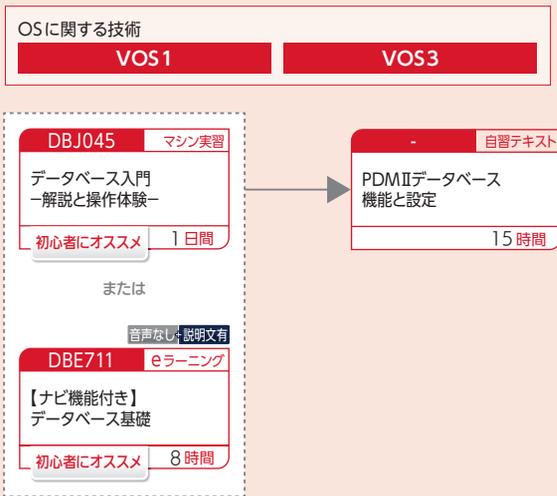
音声なし・説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

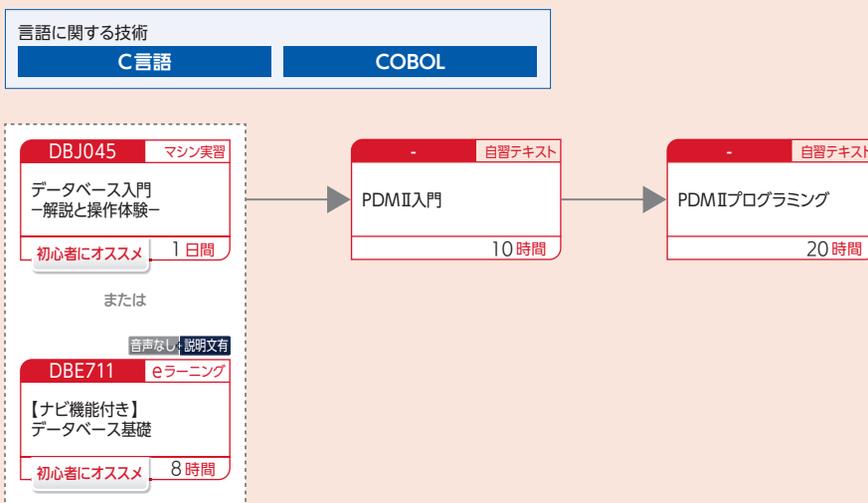
● XDM/DCCM3オンラインシステムを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



● PDMIIデータベースを構築・運用する方



● PDMIIを使用してアプリケーションプログラムを開発する方



- 音声有 + 説明文有 : 学習の説明画面とナレーション(説明テキスト)で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。
- 音声有 + 説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。
- 音声なし + 説明文有 : 学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBE016 XDM/PDM II

<eラーニング>
XDMリレーショナルDB機能と設定
—環境構築編—

平均4時間

XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
 ・RD初期設定ユーティリティで設定するオパランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. データベースの論理構造と物理構造
 (1) データベースの論理構造
 (2) データベースの物理構造
 3. XDM/RDシステムの作成
 (1) XDM/RDシステムの作成手順
 (2) XDM/RDシステムの作成の準備
 (3) XDM/RDシステムの環境設定
 4. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE017 XDM/PDM II

<eラーニング>
XDMリレーショナルDB機能と設定
—データベース作成編—

平均4時間

XDMリレーショナルデータベースシステム (XDM/RD) を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
 ・表およびインデクスを定義に必要なオパランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. データベースの論理構造と物理構造
 (1) データベースの論理構造
 (2) データベースの物理構造
 3. データベースの作成
 (1) 表の定義
 (2) インデクスの定義
 (3) テーダの初期ロードとインデクスの作成
 (4) ビュー表の定義
 4. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBE018 XDM/PDM II

<eラーニング>
XDMリレーショナルDB機能と設定
—運用編—

平均4時間

XDMリレーショナルデータベース (XDM/RD) システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標 ・機密保護、排他制御を理解し説明できる。
 ・パッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオパランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. データベースの定義と作成
 (1) データベースの論理構造
 (2) データベースの物理構造
 3. データベースの管理と保守
 (1) データディクショナリ
 (2) 機密保護
 (3) 排他制御
 4. データベースの運用
 (1) XDM/RDシステムの起動と停止
 (2) データベースの再編成
 5. 修了試験

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、「XDMリレーショナルDB機能と設定」コース(集合研修)の一部分をeラーニング化したものです。集合研修をご受講済みの方は、申し込まないようご注意ください。
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・ヘルプデスクサービスをお申し込みの場合は、別途使用料が追加されます。

DBJ104 XDM/PDM II

XDMリレーショナルDB機能と設定 休講

2日間

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。
 ・表およびインデクスを定義できる。
 ・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。
 ・パッチUAP用ユーザ空間を起動できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. データベースの定義と作成
 (1) データベースの論理構造
 (2) データベースの物理構造
 (3) XDM/RDシステムの作成
 3. データベースの管理と保守
 (1) データディクショナリ
 (2) 機密保護
 (3) 排他制御
 4. データベースの運用
 (1) XDM/RDシステムの起動と停止
 (2) データベースの再編成

備考 ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

DBE024 XDM/PDM II

<eラーニング>
XDM構造型DB機能と設定

平均18時間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
 ・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
 ・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. データベースの論理構造とデータ操作
 3. データベースの格納構造と定義
 4. データベースの物理構造と定義
 5. プログラムからのデータベース利用
 (1) 仮想構造
 (2) データベースの操作機能
 6. データベースの作成と保守
 7. データベースの管理
 (1) 排他制御
 (2) コミット(同期点)処理
 (3) データベースの障害回復

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ105 XDM/PDM II

XDM構造型DB機能と設定 休講

3日間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標 ・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
 ・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
 ・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. データベースの論理構造とデータ操作
 3. データベースの格納構造と定義
 4. データベースの物理構造と定義
 5. プログラムからのデータベース利用
 (1) 仮想構造
 (2) データベースの操作機能
 6. データベースの作成と保守
 7. データベースの管理
 (1) 排他制御
 (2) コミット(同期点)処理
 (3) データベースの障害回復

備考 ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センターまでお問い合わせください。

DBE025 XDM/PDM II

<eラーニング>
XDM/DCCM3機能解説とシステム運用

平均12時間

XDMIによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標 ・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
 ・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. メッセージ制御
 (1) メッセージ受信/送信処理
 (2) UAPのローディング方式
 (3) メッセージ編集など
 3. オンラインの運用
 (1) XDMシステムの開始と終了
 (2) センタ運用
 (3) 端末運用
 4. XDM/DCCM3システム定義例

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

DBJ103 XDM/PDM II

XDM/DCCM3機能解説とシステム運用 休講

2日間

XDMIによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標 ・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し機能設定できる。
 ・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 「DCCM3入門」、「DCCM3プログラミング」自習テキストコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. XDMシステムの概要
 2. メッセージ制御
 (1) メッセージ受信/送信処理
 (2) UAPのローディング方式
 (3) メッセージ編集など
 3. オンラインの運用
 (1) XDMシステムの開始と終了
 (2) センタ運用
 (3) 端末運用
 4. XDM/DCCM3システム定義例

備考 ・このコースは、9:30~16:30の開催とさせていただきます。
 ※このコースは、休講とさせていただきます。開催をご希望の方は、東京研修センタまでお問い合わせください。

DBE028 XDM/PDM II

<eラーニング>
XDMシステムの設計と運用

平均18時間

XDMIによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。

到達目標 ・XDM空間を起動できる。
 ・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。
 ・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。

対象者 XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。

前提知識 「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース(3コースすべて)と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。

内容 1. 概要
 2. XDMシステムの構築と運用
 (1) XDM運用のポイント
 3. XDMシステムの管理を支援するツール
 (1) XDM/AOF E2
 (2) XDM/PAF
 4. XDMの設計指針
 (1) 性能設計
 (2) 信頼性設計
 (3) DB設計
 (4) DC設計

備考 ・収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのコースです。(音声の再生環境が必須です。)
 ・このコースは、インターネットによる研修のため、パソコンとWeb環境が必要です。
 ・お申し込みの前に必ず学習利用環境、お申込方法をご確認ください。なお、ご利用にあたっては、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となります。
 ・このコースにはヘルプデスクサービスはありません。

XDM/PDM II

XDM RDBプログラミング (自習テキスト)

平均15時間

XDMリレーショナルDBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。

到達目標 ・リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。
 ・検索処理プログラムを作成できる。
 ・更新処理プログラムを作成できる。
 ・追加/削除処理プログラムを作成できる。

対象者 XDMリレーショナルDBを使用する業務プログラムを開発する方。

前提知識 COBOL言語を修了し、かつXDMリレーショナルDBの基礎知識があること。

内容 1. リレーショナルデータベースの特長とデータ操作上の留意点
 2. 検索処理プログラムの作成方法
 3. 更新処理プログラムの作成方法
 4. 追加、削除処理プログラムの作成方法

備考 ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

XDM/PDM II

XDM構造型DBプログラミング (自習テキスト)

平均24時間

XDM構造型DBを使用した業務プログラムを作成する際に必要なデータベースの検索、更新等の操作方法およびプログラムのコーディング方法を学習します。

到達目標 ・構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点を説明できる。
 ・検索処理プログラムを作成できる。
 ・更新処理プログラムを作成できる。
 ・切り離し、組入れおよび再組入れ処理プログラムを作成できる。

対象者 XDM構造型DBを使用する業務プログラムを開発する方。

前提知識 COBOL言語を修了し、かつXDM構造型DBの基礎知識があること。

内容 1. 構造型データベースの特長とデータ操作上の留意点
 2. 検索処理プログラムの作成方法
 3. 更新処理プログラムの作成方法
 4. 切り離し、組み入れ処理プログラムの作成方法

備考 ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

XDM/PDM II

DCCM3入門 (自習テキスト)

平均15時間

DCCM3またはXDM/DCCM3のオンラインシステムの構築に必要なメッセージ制御機能およびその流れを基礎的用語を中心に学習します。

到達目標 ・DCCM3の目的および特長を説明できる。
 ・メッセージの処理方法を説明できる。
 ・DCCM3オンラインシステムの障害対策と運用を説明できる。

対象者 DCCM3、XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

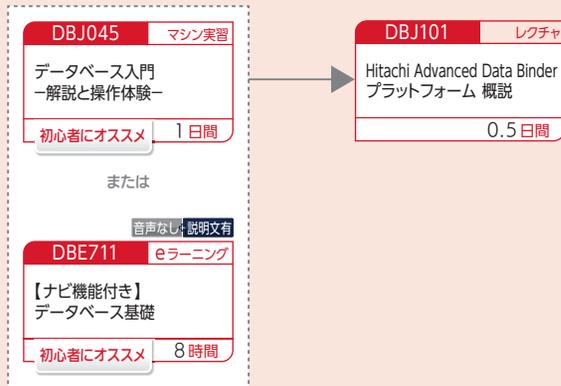
内容 1. DCCM3、XDM/DCCM3の特徴
 2. メッセージの処理方法
 3. オンラインの運用

備考 ・お申し込みについては、下記URLをご覧ください。
<https://www.hitachi-ia.co.jp/course/guide/apply/free/index.html>

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

情報系システム向け超高速データベースエンジン、Hitachi Advanced Data Binderのアーキテクチャや導入までのWBS、設計や構築・運用管理に必要なスキルが修得できます。

● Hitachi Advanced Data Binderを使用したシステムを設計・開発する方



音声有、説明文有：学習の説明画面とナレーション（説明テキスト）で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声有、説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境が必須となります。

音声なし、説明文有：学習の説明画面と説明テキストで学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

音声なし、説明文なし：学習の説明画面で学習するタイプのeラーニングです。音声の再生環境がなくても学習できます。

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

DBJ101 Hitachi Advanced Data Binder プラットフォーム

**Hitachi Advanced Data Binder
プラットフォーム 概説**

0.5日間

Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの概要、導入から保守までの作業概要（WBS）および設計・構築・運用の基礎知識を学習します。

到達目標

- ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの概要を理解し、説明できる。
- ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの導入から保守までの作業概要（WBS）を理解し、説明できる。
- ・Hitachi Advanced Data Binderプラットフォームの設計・構築・運用の基礎知識を理解し、説明できる。

対象者

Hitachi Advanced Data Binder プラットフォームの導入をご検討中の方。

前提知識

「データベース入門—解説と操作体験—」コース、または「【ナビ機能付き】データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容

1. HADB PFの概要
2. HADB PFの設計
3. HADB PFの構築の概要
4. HADB PFのテストおよびチューニングの概要

備考

このコースは、13:00～17:20の開催とさせていただきます。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名古屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立研修会お問い合わせ窓口 > <https://www.hitachi-ia.co.jp/inquiry/index.html>